

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第1区分
 【発行日】令和6年10月31日(2024.10.31)

【国際公開番号】WO2023/013682
 【出願番号】特願2022-552653(P2022-552653)

【国際特許分類】

B 0 1 J 13/18(2006.01)

C 0 8 J 9/32(2006.01)

【F I】

B 0 1 J 13/18

C 0 8 J 9/32

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月1日(2022.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シェルに、コア剤として揮発性膨張剤が内包された熱膨張性マイクロカプセルであって、レーザー回折/散乱式粒度分布測定装置を用いた体積換算粒子径のふるい下積算分布において、累積頻度10体積%の粒子径をD10、累積頻度50体積%の粒子径をD50、累積頻度99体積%の粒子径をD99とした場合、D10/D50が0.6以上1.0以下、かつ、D99/D50が1.0以上2.0以下である、熱膨張性マイクロカプセル。

【請求項2】

D99とD50の体積換算比 $[(D99)^3 / (D50)^3]$ が1.0以上8.0以下である、請求項1に記載の熱膨張性マイクロカプセル。

30

【請求項3】

D99とD10の差をD50で除した値 $[(D99 - D10) / D50]$ が0以上1.4以下である、請求項1又は2に記載の熱膨張性マイクロカプセル。

【請求項4】

D99が15 μ m以上80 μ m以下である、請求項1又は2に記載の熱膨張性マイクロカプセル。

【請求項5】

シェルは、ニトリル系モノマーを含有するモノマー組成物の重合体からなる、請求項1又は2に記載の熱膨張性マイクロカプセル。

40

【請求項6】

シェル厚みの比(最小シェル厚み/最大シェル厚み)が、0.4以上である、請求項1又は2に記載の熱膨張性マイクロカプセル。

【請求項7】

請求項1又は2に記載の熱膨張性マイクロカプセル及び熱可塑性樹脂を含有する、発泡性マスターバッチ。

【請求項8】

請求項1又は2に記載の発泡性マスターバッチを用いてなる、発泡成形体。

50